

令和 7 年度登録斜面防災基幹技能者講習会 修了試験問題

【問 1】登録基幹技能者に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、国土交通大臣の登録を受けた機関が実施する技能者講習を修了することにより認められる。
2. 登録基幹技能者講習の受講資格要件は、専門工事業 10 年以上の実務経験、3 年以上の職長経験等である。
3. 登録基幹技能者の資格は、3 年ごとの更新によって能力水準の確保に努めなければならない。
4. 登録基幹技能者は、主任技術者として認められ、経営事項審査での加点、総合評価落札方式での評価等のメリットがある。

【問 2】登録基幹技能者に求められる能力に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 施工現場において、リーダー役として他業種を含む現場内の全ての技能者を直接指揮・監督して、質の高い施工を実現できる。
2. 安全管理に係る基本的な知識を有し、作業手順書の作成、KY 活動、新規入場時の受入教育、作業改善等の一連の安全管理活動ができる。
3. 施工現場の直接窓口として、他業種とのコミュニケーションに心掛け、自社の工事が円滑に進むことのみを考えて、他の職長等と交渉することができる。
4. グループ全員に目標を明確に示すことにより、部下に意見を言わせることなく自身が定めた方針のみに基づき、目標達成に向けて業務を推進することができる。

【問 3】施工計画と施工管理に関する記述で、最も適当でないものはどれか。

1. 施工計画は、人、材料、方法、機械の 4 つの手段を用いて、発注者の要求する品質（仕様）の目的物を完成させるための管理方法を決定するものである。
2. 施工管理は、施工計画に基づき、施工者が所定の品質の工事目的物を完成させるまでの管理技術である。
3. 施工管理は、施工計画に基づき、社会的制約に対し、工程管理（遅れ）、品質管理（形状、品質）、原価管理（実行予算）等を行う。
4. 適切に施工管理を行うためには、計画（Plan）、実施（Do）、検討（Check）、処置（Action）の 4 段階の PDCA サイクルを回すことが基本である。

【問 4】 施工計画の作成に関する記述で、**最も適当でないもの**はどれか。

1. 施工計画は、工事目的物を完成させるため、品質、原価、工程、安全、環境保全に対する管理方法を総合的に計画したもので、下請け業者が計画する。
2. 施工計画の作成では、現場の自然条件や敷地条件、周辺状況等を十分に事前調査する事が重要である。
3. 現場条件は工事毎に異なるので、複数人で調査するか、または場合によっては回数を重ねたり、時期をずらしたりして調査する。
4. 施工計画における基本計画は、①事前調査結果から現場状況の把握、②複数工法案の作成、③施工手順、仮設備・機械・設備等組み合わせの検討、④工程・工費・安全の総合評価、⑤最適工法の決定、の流れで検討する。

【問 5】 横ボーリング工や斜面对策等の地すべり対策工事の施工計画立案にあたって**最も適当なもの**どれか。

1. 地すべり対策工事の着工を早めるため、対策工施工個所を集中的に事前調査し、施工計画を立案した。
2. 発注者との協議を早急に行うため、類似した他の工事個所の施工計画書を参考に施工計画を立案し、着手した。
3. 事前調査により現場条件と設計図書の内容を十分に検討した結果、「ひょっとすると危険かも知れない」との問題点を発注者と口頭で協議した。
4. 事前調査においては、時間と人員をかけて調査を実施し、調査結果を踏まえた危険個所等の対策を反映した施工計画を立案した。

【問 6】 次の作業のうち、特別教育で**従事できないもの**はどれか。

1. 移動式クレーン 1 トン以上 5 トン未満運転。
2. 1 トン未満のクレーン、移動式クレーンの玉掛作業。
3. 足場の組立て、解体又は変更に係る業務。
4. チェーンソーを用いて行う立木の伐採、かかり木の処理または造林の業務。

【問 7】 安全衛生責任者の職務として**最も適当でないもの**はどれか。

1. 毎日の安全工程打合せへの参加。
2. 自社（請負人）と元請の車両系建設機械、移動式クレーン等の重機を用いる作業計画の調整。
3. 協議組織（災害防止協議会）の設置・運営。
4. 混在作業において、同一場所における危険防止のための立入禁止等措置の確認。

【問 8】労働時間に関する記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 労働時間とは、始業時刻から終業時刻までのうち、休憩時間を除く拘束時間をいい、技能者の個別判断によることが出来る時間をいう。
2. 労働から離れることが保障されていない待機時間（いわゆる手待時間）は、労働時間に当たる。
3. 移動手段として、会社から社用車に乗り合いで現場に向かう等が指示されている場合は、労働時間に当たる。
4. 職長の指示により、義務付けられた制服や装備の着用及び業務終了後の清掃などを行う時間は、労働時間に当たる。

【問 9】資機材管理計画に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 建設資材と建設機械の調達および輸送費用は、工事費の約 40～70%を占めており、これらの計画が原価管理の良否を決める重要な項目となる。
2. 車両制限令において規定されている一般制限値は、人が乗車し、貨物が積載された状態で、幅 2.8m、高さ 4.0m、長さ 12mまでである。
3. 建設機械の定期点検及び整備は、機械整備士等、機械の点検整備について十分な知識及び経験のある者が行い、運転者はその点検整備の結果を確認することが必要である。
4. 建設機械は有資格者が作業を行っていても、定められた作業手順を守らなかったために、機械を転倒させるなどの大きな事故を発生させた事例も多い。

【問 10】原価管理に関する次の記述のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 実行予算とは、各種の具体的な施工計画を立て、その工事を実行するために必要な費用をできるだけ精密に予測・算出したものである。
2. 土木工事の工事原価とは、直接工事費に共通仮設費、現場管理費、一般管理費等を加えたものである。
3. 予算実績管理とは、実行予算と実績を比較しながら、予算内に収めるよう管理することを言う。
4. 実行予算では、図面から拾い出した「設計数量」ではなく、ほぐし率、ロス率など施工を考慮して加えた「施工数量」を用いる。

【問 11】労働災害防止対策として最も適当でないものはどれか。

1. 作業構台に資機材を搬入するために、元請の許可を取り、足場の一部を解体した。資機材を作業構台に引き上げた後、すぐに足場をもとの状態に戻した。
2. 斜面法尻部を垂直に高さ 1m 掘削するが、崩壊の危険性が高まったので工事を中断し、仮設土止めの設置を発注者と協議した。
3. ショベルをミキサー車に近づけて生コンをバケットに受ける作業をおこなった。オペレーターに指示を出すため、無線を使って作業した。
4. マンホールにおいて、酸素欠乏の危険があるため防毒マスクを着用させた。

【問 12】墜落防止対策において、最も適当でないものはどれか。

1. 高さ 5m 以上の足場組立する際は、足場組立作業主任者を選任しなければならないが、高さ 3m の足場組立を行うため、足場組立作業主任者の選任をせず、作業指揮者を選任して作業した。
2. 足場の組立が完了したので、事業者が、足場組立実務研修を修了した者の中から足場組立の点検者を指名し点検させた。
3. ロープ高所作業において、1 本の太さ 20 mm 長さ 1m 以上の鉄筋のアンカーバーにメインロープとライフラインを取り付けた。
4. ロープは法面まで届く長さを基本とするが、横移動に伴い、ロープが不足するため、すり抜け防止措置を行った。

【問 13】作業標準書による施工品質の確保・向上対策として、最も適当でないものはどれか。

1. 作業標準書は、施工品質を確保し向上させるために可能な範囲で作業の標準化を図り文書化したものである。
2. 登録基幹技能者は、作業標準書を熟知し、施工チーム内にその内容を周知させる。
3. 登録基幹技能者は、未熟練者や新規入場者には作業標準書に基づいた場当たりの指導や指示を行う。
4. 作業標準書は、作業の標準化を図ることを目的としているため、技能者の意見は反映されないことが望ましい。

【問 14】斜面防災関係法令に関する記述のうち最も適当なものはどれか。

1. 地すべり等防止法では、『地すべり』とは、土地の一部が住宅開発に起因してすべる現象を言う」と規定されている。
2. 「地すべり防止区域」は、地すべり防止工事を行う区域を都道府県知事が指定する。
3. 急傾斜地の崩壊による災害の防止に関する法律（いわゆる「急傾斜地法」）では、『急傾斜地』とは 30 度以上の斜面」と規定されている。
4. 「急傾斜地崩壊危険区域」は、工事を行う区域を国土交通大臣が指定する。

【問 15】斜面防災工事の施工中に地震が発生した場合に、作業員の安全確保のために職長がとった対応のうち、最も適当でないものはどれか。

1. 地震が発生すると、斜面が緩み崩壊の危険性が高まることがあるので、地震発生前後における斜面上の変化の有無を点検することにした。
2. 点検としては、斜面からの落石の有無、斜面におけるクラックの発生、立木の傾きの有無、斜面から出てくる湧水の量や位置の変化を調査した。
3. 新たなクラックの発生や樹木の傾きがあったが、目視では付近の構造物に異常が見られなかったので、工期が迫っていたこともあり雨天でも工事を急いだ。
4. 震度が大きい地震では、山間地で河道閉塞（天然ダム）が発生している場合があるので、作業場に隣接する溪流の水位や濁りの急激な変化を監視することにした。

令和 7 年度登録斜面防災基幹技能者講習修了試験問題 正答

問	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
正答	3	2	1	1	4	1	3	1	2	2	4	3	4	3	3